

教 科 商 業

科 目 課題研究

授業科目	課題研究	単位数	4 単位	履修形態	必修・ 選択	
履修学年	3 年	科	I C T 科			
教科書	全商ビジネスコミュニケーション検定テキスト(実教出版) 電子会計 2 級テキスト(実教出版)	副教材	模擬問題集 まなびやマニュアル 現代社会資料集（第一学習社）			
授業概要	小論文研究・ビジネス研究（まなびや研究） 簿記研究・ビジネス文書研究					
授業内容		単 元	目 標	教 材		
および 到達目標	1 学 期	簿記研究	仕訳処理・試算表作成・決算整理・連結会計・管理会計 日商簿記検定にチャレンジ	過去問題集 模擬問題集		
		ビジネス文書研究	表の挿入・図の挿入・センタリングの方法・機械・機械操作について・文書の種類・作成・プレゼンテーションについて・ことばの知識 全商ビジネス文書検定にチャレンジする。	過去問題 模擬問題集		
		小論文研究	社会問題研究・志望動機の制作・進路先の研究・将来の自分像制作 小論文の模擬にチャレンジする。	模擬問題集 副教材		
		ビジネスマナー研究	働くということ・ビジネスマナー・コミュニケーションスキルについて 全商ビジネスコミュニケーション検定にチャレンジする。	模擬問題集 外部講師による講義		
		2 学 期	小論文研究	社会問題研究（環境問題・高齢化社会・女性問題・経済問題） 大学研究（志望動機）	現代社会資料集	
			電子会計研究	仕訳処理・試算表作成	模擬問題集 電子会計 2 級テキスト	
	3 学 期		電子会計研究 ビジネス研究 （まなびや研究）	財務分析・企業分析 HP 作成（まなびやページ作成） 出店依頼(第 2 0 回企業出店説明会の企画) まなびやの引き継ぎ	模擬問題集 まなびやマニュアル	

教 科 商 業

授業科目	経済活動と法	単位	2 単位	履修形態	必修 ・ 選択
履修学年	高校 3 年 ICT 科				
教科書	なし	副教材	まなびやマニュアル 所得税法問題集		
授業概要	ビジネスの諸活動を遂行するために欠かせない民放・商法に関する基礎的・基本的な知識を習得し、今まで学んできた簿記とのつながりを理解させる。 また、本校の学校設定科目である「まなびや研究」に関する特定商取引法や税金に関する法律に関しても学ぶ。				
授業内容 および 到達目標		単 元	目 標	評 価	
	4月	1 経済社会と法	○経済活動の円滑な流れは法によって行われていることを理解させる。		
		2 消費税と簿記	○日常生活における消費税と簿記の処理を理解させる。		
	5月	3 特定商取引法 I	○「まなびや」における特定商取引法に基づく表記の方法を理解する。		
		4 権利義務と財産権	○権利の客体としての物の意義や種類と財産権について理解をさせる。	○業務日報 の提出	
	6月	5 企業活動に関する法 ・ 手形・小切手と法 ・ 法人税	○商人概念を理解させる。 ○特殊な手形まで理解させる。 ○法人税と税効果会計の処理を理解させる。		
		6 財産権と契約	○売買契約について理解させる。 ○消費貸借・賃貸借を理解させる。		
	7月	7 特定商取引法 II	○特定商取引法に基づく「まなびや」における文章記載の注意を理解する。 ○クーリングオフに対する理解。 ○メールマガジンや SNS における注	○業務日報 の提出	

			意事項を理解させる。	○期末試験
9月	8 税と法律 ・ 所得税法	○所得の種類の違いを理解させる。 ○利子所得の計算方法を理解させる。 ○配当所得の計算方法を理解させる。 ○不動産所得の計算方法を理解させる。 ○事業所得の計算方法を理解させる。 ○給与所得の計算方法を理解させる。 ○退職所得の計算方法を理解させる。 ○山林所得の計算方法を理解させる。 ○一時所得の計算方法を理解させる。 ○譲渡所得の計算方法を理解させる。 ○雑所得の計算方法を理解させる。 ○課税所得の計算を理解させる。 ○税額控除の計算を理解させる。 ○所得税の計算をする。 ○確定申告の仕方を理解させる。	○所得税法の試験	
11月	9 社会生活に関する法	○生活を守る法律を学習させる。		
	10 紛争の予防と解決	○和解・調停・仲裁および民事訴訟を学習させる。	○期末試験	
12月	11 特定商取引法Ⅲ	○「まなびや」の引継ぎにおいて後輩への特定商取引法の指導方法を考えさせる。	○業務日報の提出	
1月	12 特定商取引法Ⅳ	○「まなびや」の引継ぎにおいて後輩へページ作りの表現方法の指導に注意させる。	○業務日報の提出	

教 科 商 業 科 目 情 報 処 理

授業科目	情報処理		単位数	2 単位	履修形態	必修 ・ 選択
履修学年	高校 3 年 I C T 科		コース	全コース		
教科書	なし			副教材	情報処理問題集 ビジネス文書問題集 表計算問題集 日本語ワープロ問題集	
授業概要	企業において情報を扱うことについて実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。					
授業内容 および 到達目標		単 元	目 標		教 材	
	1 学 期	企業活動と情報 処理	情報処理の重要性、情報モラルについて学ぶ。 ワープロの速度やビジネス文書に関する知識 についての学習をする。		情報処理問題 集・ビジネス文 書問題集	
		コンピュータシ ステムと情報デ ザイン	ネットワーク接続、イントラネットの基礎的 な設定方法等を学習する。「Excel」の関数を学 び、表計算ソフトの知識を習得する。		ビジネス文 書問題集	
	2 学 期	情報の集計と分 析	表計算ソフトを使用し、データの集計と分析 の知識を学ぶ。		表 計 算 問 題 集・情報処理 問題集	
		ビジネス文書の 作成	「Word」を使用して文書作成の技術を学び、 幅広い文書を作れるようにする。		ビジネス文 書問題集・日 本 語 ワー プ ロ問題集	
	3 学 期	プレゼンテーシ ョン	プレゼンテーションを行う際の話の構成、話 し方、画像と音声の活用などプレゼンテーシ ョンソフトウェアを活用する。		情 報 処 理 問 題集	

教 科 商 業

科 目 まなびや研究

授業科目	まなびや研究	単位数	2 単位	履修形態	必修 ・ 選択
履修学年	高校 3 年 ICT 科				
教科書	なし		副教材	まなびやマニュアル	
授業概要	『高校生が創り運営するオンラインショッピングモールまなびや』の運営を行う授業である。担当企業様に連絡を取り、商品や広告の情報を提供していただきページを作成する。 また、担当企業様とコラボレーションをして新商品の開発にも力を入れている。 また、参加企業を増やすため、飛び込み営業を行い説明会の開催や、1 年間の活動を報告する報告会を行う授業である。				
授業内容 および 到達目標		単 元	目 標	教 材	
	1 学 期	新年度のご挨拶	新規企業担当者を決定させ、新年度のご挨拶をメール、または電話で行う。	まなびや企業訪問マニュアル	
		まなびやホームページの充実	ホームページの改良を目指す。より、見やすく、使いやすいページ作りをして買い物をしやすくする。	まなびや詳細ページマニュアル	
	2 学 期	新規企業開拓	まなびやに加入していない企業を対象に説明会を開催する。実践的な営業活動を通じてビジネスマナーの向上を目指す。	まなびや買い物の仕方マニュアル	
		新商品登録 営業活動	月に 1 回担当企業様に訪問し新商品の情報やニュースがないか打合せを行う。実践からビジネスマナーを身につける。	まなびや詳細ページマニュアル、まなびやマニュアル店舗編	
		しんきんフェア	信用金庫が主催するしんきんフェアに参加する。企業と商談をし、実社会で通用する力を身につける。		
		報告会	1 年間の活動を参加企業に対して報告しプレゼンテーション能力や実践的な活動を通じ、おもてなしの心を学ぶ。		
		静岡を観る まなぐる	観光名所やグルメ情報ページの更新。新規企業を開拓し営業活動を行う。	まなびや詳細ページマニュアル	
	3 学 期	引継ぎ	業務内容を後輩へ引き継ぎ。 担当企業様への挨拶。	まなびやの歴史マニュアル	

教 科 国語

科 目 現代文 A

授業科目	現代文 A		単位数	2 単位	履修形態	必修・ 選択
履修学年	高校 3 年 ICT 科		コース	全コース		
教科書	現代文 A（大修館）			副教材	新総合図説国語 準拠学習ノート（大修館）	
授業概要	近代以降の様々なジャンルの文章を読み味わう能力をさらに高めるとともに、ものの見方・感じ方・考え方をより深め、進んで表現し読書することによって人生を豊かにする態度を育てる。					
授業内容 および 到達目標		単 元	目 標		教 材	
	1 学 期	随想	他者の経験から生まれた意見や感想を読み、自分の考えを作り出すきっかけにする。 随想的な文章の内容や表現の特色を学び、他の文章にも関心や興味を広げる。		「どんな人になりたいかったか？」	
		評論	自国の文化を理解し、他国の文化を尊重する態度を養う。 対照的、対比的な論述の仕方に着目して、筆者の主張を正確に読み取る。		「和の思想、間の文化」	
		漢字検定	漢字検定 弱点分野の克服		漢検問題集	
	2 学 期	漱石・鴎外の世界	場面展開を的確に読み取り、主題に迫る 自我（我執）について考える機会を提供する		「こころ」	
	3 学 期	情報と私たち	情報化社会で生活していくために、言語や情報のあり方を明確に理解する。		「情報の力関係」	
		現代を考える	社会的な傾向や変化に目を向け、どのような時代を生活しているかを考える。		「家族化するペット」	

教 科 国語

科 目 国語表現（高3）

授業科目	国語表現Ⅱ	単位数	2 単位	履修形態	必修 ・ 選択
履修学年	高校 3 年 ICT 科	コース			
教科書	国語表現〈大修館〉		副教材	国語表現基礎練習ノート	
授業概要	日本語を的確に表現するための技術を磨く。 自分の意見をもつために、現代の様々な事柄についての理解をより深める。				
授業内容 および 到達目標		単 元	目 標	教 材	
	1 学期	自己 PR と面接	経験から得たことや学んだことなどから長所短所を考える。面接の受け答えができるようにする。		
		漢字検定	小論文などを書くにあたって、語彙を増やす	漢検問題集	
		メディアを駆使する	様々な通信文を理解する 初対面や目上の人に対する電話での話し方を理解する。	小論文添削	
	2 学期	声のコミュニケーション	朗読箇所を選定し、文章に応じてふさわしい朗読、表現の工夫をする。		
		表現を楽しむ	情報を適切に編集し、読み手に伝わる表現を考える。		
	3 学期	自分史	自分の生い立ちを知る。 18 年間を振り返り、社会人になっていく自分の心構えを作る。	国語科作成ワークシート	

教 科 社 会

科 目 世界史 A

授業科目	世界史 A	単位数	2 単位	履修形態	必修 ・ 選択
履修学年	高校 3 年 A～F 組	コース	ICT 科		
教科書	実教出版 新版世界史 A		副教材	ワーク	
授業概要	世界の歴史を諸資料に基づき、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解させ、現代の諸課題を歴史的視点から考察し、国際社会に主体的に生きる自覚と資質を養う。				
授業内容 および 到達目標		単 元	目 標		教 材
	1 学 期	第 1 章 ユーラシアの諸 文明と交流	自然環境・生活・民族・宗教・思想などに関する基本的知識を身に付け、それらに関する関心を高め、意欲的に追究し、考察・判断して、その過程や結果を適切に表現できるようにする。		
		第 2 章 一体化に向かう 世界と日本	世界の一体化の過程を理解し、知識を身に付け、この一体化の過程におけるヨーロッパの動向と日本などアジア諸国の対応について、考察・比較して、その過程や結果を適切に表現できるようにする。		
	2 学 期	第 3 章 ヨーロッパ・アメリカの諸革命と 世界の変動	16 世紀以降の世界商業の進展と産業革命後の資本主義の確立を中心に、世界の一体化の過程を理解し、知識を身に付け、この一体化の過程におけるヨーロッパの動向と日本などアジア諸国の対応について、考察・比較して、その過程や結果を適切に表現できるようにする。		
		第 4 章 現代世界の歩み	地球規模で一体化した現代世界の特質と展開過程に対する基本的知識を身に付け、人類の課題について考察・判断し、報告・判断できるようにする。		
	3 学 期	第 5 章 第 2 次世界大戦 後の世界	地球社会への歩みと地球規模で深刻化する課題について考察させる。		

教 科 数 学

科 目 数学演習

授業科目	数学演習	単位数	2 単位	履修形態	必修・選択
履修学年	高校 3 年	コース	ICT 科		
教科書	数学 A Advanced		副教材	プリント	
授業概要	平面図形を学習した後、大学進学後の活用を目的に微分・積分について学習します。				
授業内容		単 元	目 標		教 材
および 到達目標	1 学 期	三 角 形 の性質 円 の 性 質	① 三角形の比の定理を理解する。 ② 円に関する定理を理解する。		ニュージャ スト 練習ドリ ル
	2 学 期	微分・ 積分	① 平均変化率の意味と、極限、微分の考え方を理解する。 ② 平均変化率の極限值として微分係数を求めることができるようにする。 ③ 導関数を理解し、微分法を使えるようにする。 ④ 微分の逆計算として不定積分を導入する。 ⑤ 定積分を理解し、面積が求められることを理解する。		プリント
	3 学 期				

教 科 英 語

科 目 コミュニケーション英語Ⅱ

授業科目	コミュニケーション英語Ⅱ		単位数	2 単位	履修形態	必修 ・ 選択
履修学年	高校 3 年 ICT 科		コース			
教科書	WORLD TREK English Communication Ⅱ (桐原書店)			副教材	学習ノート、ワークブック Treasure Hunt	
授業概要	英語を通じて積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする能力を養う。 実用英語技能検定 2 級・準 2 級や、全商英検 1 級・2 級の取得を目指す。					
授業内容		単 元	目 標			教 材
および 到達目標	1 学 期	Lesson 8 Diary 英検対策	ロボット研究者の古田貴之さんの人生について読み、彼の夢 やロボット研究にまつわる思いを理解する。 分詞構文を理解し使うことができる。 アンネの日記を読み、心情をくみ取ることができる。 受験級の取得を目指す。			WORLD TREK 英検問題集
	2 学 期	Lesson 9 ,10 Unit 1 ～ Unit 15 全商英検対策	ベントレーの伝記、ヨーロッパに影響を与えた浮世絵について理解を深める。 仮定法、準否定語、比較表現を理解し使うことができる。 高校で学習した英語の知識を活かして、実践的な総合問題に挑戦することができる。 受験級の取得を目指す。			WORLD TREK TREASURE HUNT 全商英検問題集
	3 学 期	まとめ、実践演習	高校英語のまとめと、実践的な演習に活かすことができる。			新聞、インターネット等

教 科 英語 科 目 英語表現 I

授業科目	英語表現 I	単位数	2 単位	履修形態	必修 ・ 選択
履修学年	高校 3 年 ICT 科	コース			
教科書	MY WAY English Expression I New Edition (三省堂)	副教材	Listening Box 1 (啓林館) 英検問題集、全商英検問題集		
授業概要	高校英語に必要な文法や表現を理解し、聞いたり読んだりする能力を養う。また、それらを使い、英語で表現する能力を養う。 実用英語技能検定 2 級・準 2 級や、全商英語検定 1 級・2 級の取得を目指す。				
授業内容		単 元	目 標		教 材
および 到達目標	1 学 期	Lesson21 ～Lesson 25 英検対策	仮定法、語法を理解し使うことができる。 2 級、準 2 級の取得を目指す。		MY WAY 英検問題集
	2 学 期	Lesson25 Lesson1～Lesson20 全商英検対策	接続詞を理解し使うことができる。 さまざまな場面での英語表現を聞き内容を理解することができる。 1 級、2 級の取得を目指す。		MY WAY Listening Box 全商英検問題集
	3	実践演習	高校で学習した英語の知識を活かして、実践的に英語を活用することができる。 実生活の中から様々な英語に触れる。		新聞、インターネット等

教 科 家庭科

科 目 ふじのくに研究

授業科目	ふじのくに研究	単位数	2 単位	履修形態	選択
履修学年	高校 3 年 ICT 科	コース			
教科書			副教材		
授業概要	静岡県の食材における魅力や課題について研究し、発表する。その研究をもとに地元静岡に対する愛を深める。 高校生対抗レシピコンテストなどに参加をする。				
授業内容 および 到達目標		単 元	目 標	教 材	
	1 学 期	静岡県の食材について	グループでテーマを決め、静岡県の食材について魅力・課題を調査し、地元の食材に対する知識・理解を深める。	パソコン インターネット 資料 新聞	
		地域の食材を使ったレシピ作り	家族のコミュニケーションを深めるべく共食の推進と、栄養のアンバランスを解消できる食材の使い方を考慮しながら、静岡県産の農作物や魚類、肉類を使用したオリジナルレシピを考える。(お魚レシピコンテスト・うまいもん甲子園等参加)		
	2 学 期	静岡県の食材について	静岡県の食材について魅力・課題を調査し POWERPOINT を作成する。 テーマの食材を使ったレシピを考える。その栄養価についても深く研究する。調理実習を行う。	パソコン インターネット 資料 新聞	
		地域の食材を使ったレシピ作り	家族のコミュニケーションを深めるべく共食の推進と、栄養のアンバランスを解消できる食材の使い方を考慮しながら、静岡県産の農作物や魚類、肉類を使用したオリジナルレシピを考える。(静岡県私学レシピコンテスト・給食レシピコンテストに参加)		

	3 学 期	静岡県の食材について まとめレポートを提出。	1～2 学期に行った調査、実習をまとめ、自分なりに静岡県の魅力・課題のプレゼンテーションを行い、互いの発表成果を評価する。今までの活動の記録をまとめる。	発表会
--	-------------	--------------------------------------	---	-----

教 科 社 会

科 目 ふじのくに研究

授業科目	ふじのくに研究	単位数	2 単位	履修形態	必修
履修学年	高校 3 年 ICT 科	コース	全コース		
教科書			副教材	最新現代社会資料集(第一学習社) 新聞・ニュース時事検定など	
授業概要	静岡県の環境・歴史・観光・企業における魅力や課題について研究する。その研究をもとに地元静岡に対する愛を深める。				
授業内容 および 到達目標		単 元	目 標	教 材	
	1 学 期	静岡県の環境について	静岡県の環境について魅力・課題を調査し POWERPOINT を作成する。地元の環境に対する知識・理解を深める。	インターネット ット 新聞 資料	
		静岡県の歴史について	静岡県の歴史について魅力・課題を調査し POWERPOINT を作成する。地元の歴史に対する知識・理解を深める。	インターネット ット 新聞 資料	
	2 学 期	静岡県の観光・企業について	静岡県の観光・企業について魅力・課題を調査し POWERPOINT を作成する。地元の観光・企業に対する知識・理解を深める。	インターネット ット 新聞 資料	
	3 学 期	静岡県の魅力について まとめレポートを提出。	1～2 学期に行った調査をまとめ、自分なりに静岡県の魅力・課題をまとめ POWERPOINT を作成する。今までの活動の記録をまとめ、レポートで提出。	インターネット ット 新聞 資料	

教 科 英 語

科 目 ふじのくに研究

授業科目	ふじのくに研究	単位数	2 単位	履修形態	必修・選択
履修学年	高校 3 年 ICT 科	コース			
教科書			副教材	静岡県観光協会 HP・パンフレット 静岡市観光情報サイト・パンフレット 等	
授業概要	静岡県中部や静岡市各地の史跡や名所について研究する。調べた情報をまとめ、英語でプレゼンテーションしたりやホームページで紹介したりする。 観光地を紹介する英語表現を学び運用する。				
授業内容		単 元	目 標		教 材
および 到達目標	1 学 期	観光案内の HP 研究	静岡の史跡・名所について知る。 観光地を紹介する英語表現を学ぶ。		ハローナビしずおか 静岡観光情報 「駿府静岡市」 等
	2 学 期	静岡の史跡・名所研究	静岡の史跡・名所について研究する。 調べた史跡・名所を英語で紹介する。 グループごとプレゼンで発表する。		
	3 学 期	まとめ	調べた静岡の史跡・名所を英語でプレゼンしたり、ホームページなどで発信したりする。		

教 科 目 家 庭 基 礎

授業科目	家庭基礎	単位数	2 単位	履修形態	必修・ 選択
履修学年	3 年 ICT 科	コース			
教科書	家庭基礎「明日の生活を築く」(開隆堂)	副教材	生活学 Navi (実教出版)		
授業概要	男女共同参画社会の推進に対応し、男女が総合に協力し、家族の一員としての役割を果たし、家庭を築くことの重要性について認識させる。また自分らしさを見つけ実習を取り入れながら、実生活の中で生かせる知識や技術を身につける。				
授業内容 および 到達目標		単 元	目 標	教 材	
	1 学 期	生活を営み、自立する 「消費者市民として生きる」 人生を見通し、共に生きる 「青年期の自立と家族家庭」 「子どもの発達と保育」 「高齢者の生活」 「共生社会における地域や家族」	成人年齢が18歳になることで、消費者の権利と責任を自覚して行動できるよう契約の重要性について理解する。消費者保護の仕組みについて理解する。 自分らしさ、生き方について考え、ジェンダーに関する知識を身につけ男女平等意識を高める。 家族・家庭の機能について理解し、将来の自分の結婚や家庭を想像する。 幼児の遊び、食物、及び被服に関する学習を通して、その心身の発達に応じた生活について理解させ、幼児に対する関心を高める。 子どものおやつ作りを通して、3食の食事ではとりきれない栄養を補う大切な役割があることを理解する。高齢者の心身の変化と特徴を知り、健康状態に伴う暮らし方の変化を理解する。高齢者福祉や子育てに関する社会支援について理解する。	教科書 プリント 「18歳までに学ぶ契約の知恵」 DVD 「生命誕生」 調理実習	
	2 学 期	生活を営み、自立する 「食べる」	各栄養素の特徴と働きを理解する。また、食品添加物の働き、人体への害・危険性を理解し、健康で安全な食生活を営むことができるようにする。 現代の食に関する問題点を知り、食に関してさまざまな角度から考えられるようにする。 調理実習を行い、調理技術を身につける。	教科書 プリント DVD 「食品添加物」 調理実習	
	3 学 期	生活を営み、自立する 「着る」	被服の基礎的な知識を理解する。被服材料について科学的に理解する。着装に関心をもち、自分の個性を見つめ、自分らしい着装とTPOについて考える。	教科書 プリント	

教 科 芸 術

科 目 音 楽

授業科目	音楽Ⅰ		単位数	1 単位	履修形態	必修 ・ 選択
履修学年	高校 3 年		コース	ICT科・普通科		
教科書	音楽之友社			副教材		
授業概要	歌唱、器楽、鑑賞などの音楽の諸活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の多様な音楽、音楽文化と深くかかわる。					
授業内容 および 到達目標		単元	目標			教材
	1 学 期	楽典・ギター	コードの種類を覚え、和音の織りなす美しさを味わう。			ギター
		創作アンサンブル	歌、ギター、リコーダー、鍵盤ハーモニカ、グロックンなどを使い、どのパートをどの楽器で演奏するのがふさわしいか考えながら、自分たちでアンサンブルで演奏する。			星野源「うちで踊ろう」
	2 学 期	アンサンブルを楽しもう	声や楽器を組み合わせで演奏したり、創作を通して、それらに必要な技能を高め、イメージをもって創造的に表現する。			島人ぬ宝
		民族と音楽（１） 日本のこころ	音楽の諸活動を通して、日本の様々な音楽に触れ、その良さや美しさを理解する。			椰子の実
民族と音楽（２） 世界の旅		歌唱や鑑賞を通して、世界の音楽の種類や特徴を文化的背景とかかわらせて理解し、その良さを味わう。			おおシャンゼリゼ	
3 学 期		劇と音楽	ストーリーと音楽のつながりを感じ、音楽の役割について考える。			美女と野獣 Memory
		合唱	合唱音楽を体験し、他者との調和を意識して歌うとともに、表現形態の特徴や表現上の効果を生かして歌う技能を身に付ける。			次の空へ

教 科 保健体育

科 目 体育

授業科目	体育	単位数	3 単位	履修形態	○必修 ・ 選択
履修学年	高校 3 年	コース	ICT 科		
教科書	なし		副教材	アクティブスポーツ 大修館書店	
授業概要	自己の状況に応じて体力の向上を図る能力を育て、公正、協力、責任などに対する意欲を高め、生涯スポーツの実現を目指す。				
授業内容 および 到達目標		単 元	目 標		教 材
	1 学 期	体育理論	現代のスポーツの特徴について理解できるようにする。		
		体ほぐし運動	運動を通して、自己の体に関心を持ち、自分や仲間の状態に気づくことが出来るようにする。		
		新体力テスト	持久走を含む 8 種目 A ランクを目標		
		水泳	自由形・平泳ぎ・背泳ぎの 3 泳法の個々の能力に合った目標タイムを設定し記録向上に向けた練習を進める。		
		バスケットボール	ドリブル、パス、シュートの技術向上を図り、より高度な試合展開ができるようにする。		
	2 学 期	ダンス	創作の質を高め、ダンスの技術の向上と自己表現の楽しさを味わう。		
		器械運動	柔軟性を高め、多様な技を組み合わせた演技をし、成功した時の喜びを味わう。		
		体育理論	現代のスポーツの特徴について理解できるようにする。		
		新体力テスト	持久走を含む 8 種目 A ランクを目標		
	3 学 期	サッカー	チームでの連携を図り、より高度な試合展開ができるようにする。		
		武道	相手の動きの変化に応じて、多様な技への連絡を用いて高度な試合展開ができるようにする。		